

2020年度後期 講義概要

授業科目名	核酸・病態生化学実習
主担当教員名	扇田 久和
配当学年 等	医学科2年
学習目標	<p>以下の内容を理解し、実際の手技を自分自身で行えるようになることを目標とする。</p> <p>1) 核酸の電気泳動（ゲル作成を含む）</p> <p>2) 制限酵素の使用</p> <p>3) 制限酵素地図の作成</p>
授業概要	遺伝情報の担い手である核酸を取り扱うことで、基礎的な生化学的研究手法を習得する。

授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	課題有・無	授業形式(原則、対面。)
令和3年1月5日(火)	3限	扇田 久和	核酸・病態生化学実習(第1グループ)	アガロースゲル作成、制限酵素の使用、制限酵素地図の作成	レポート	対面
令和3年1月5日(火)	4限	佐藤 朗				対面
令和3年1月5日(火)	5限	清水 昭男 米野 雅大				対面
令和3年1月7日(木)	3限	扇田 久和	核酸・病態生化学実習(第2グループ)	アガロースゲル作成、制限酵素の使用、制限酵素地図の作成	レポート	対面
令和3年1月7日(木)	4限	佐藤 朗				対面
令和3年1月7日(木)	5限	清水 昭男 米野 雅大				対面
令和3年1月12日(火)	3限	扇田 久和	核酸・病態生化学実習(第3グループ)	アガロースゲル作成、制限酵素の使用、制限酵素地図の作成	レポート	対面
令和3年1月12日(火)	4限	佐藤 朗				対面
令和3年1月12日(火)	5限	清水 昭男 米野 雅大				対面
授業形式・視聴覚機器の利用	<p>実習前に渡す実習書（オリジナルのテキスト）を実習開始前までに必ず熟読し、実習内容について理解しておくこと。実習中の3蜜を避けるため本年度は医学科2学年を3グループに分け、各グループが各1日（3時限分）だけ実習室で実習を行う。薬品・機器の取り扱いには十分注意すること。実習中は白衣の着用を義務づける。</p>					
評価方法	<p>実習中の態度、実験結果、レポート内容で評価する。COVID-19の影響などにより指定された実習日を欠席する場合は必ず学生課に連絡のこと。無断欠席は「不可」となる。欠席した場合の取扱いについては後日連絡する。</p>					
教科書・参考文献	<p>基礎生化学実験法 第4巻 核酸・遺伝子実験(東京化学同人)</p>					
学生へのメッセージ	<p>本年度はCOVID-19の影響で3グループに分かれての実習になり、実習内容は大幅に減少するが、マイクロピペットの使用法など基礎的な手技についてしっかりと身につけて欲しい。</p>					